

北海道経済産業局・JOGMECによる 主な地熱事業支援実績

2026年5月11日

経済産業省北海道経済産業局

(お問い合わせ先)

経済産業省 北海道経済産業局

資源エネルギー環境部 エネルギー対策課

課長：高橋 育男

担当(地熱開発専門官)：佐々木、西口、渡辺

電話：011-709-2311(内線2639)

E-mail：bzl-hokkaido-chinetsu@meti.go.jp

北海道経済産業局・JOGMECによる主な地熱事業支援実績

2026年5月時点

北海道全域の取組

北海道 (H26fy~H28fy)
専門家派遣、ポテンシャルマップ作成等

北海道温泉協会 & (株)北海道二十一世紀総合研究所
(H25fy~H28fy)
勉強会開催、先進地調査等

凡例

北海道経済産業局 執行事業

- ・地熱開発理解促進関連事業 (H25fy~H28fy)
- ・地熱発電に対する理解促進事業 (H29fy~H30fy)
- ・地熱発電の資源量調査・理解促進事業 (R1fy~R5fy)
- ・地熱発電理解促進事業 (R6fy~)

JOGMEC 執行事業

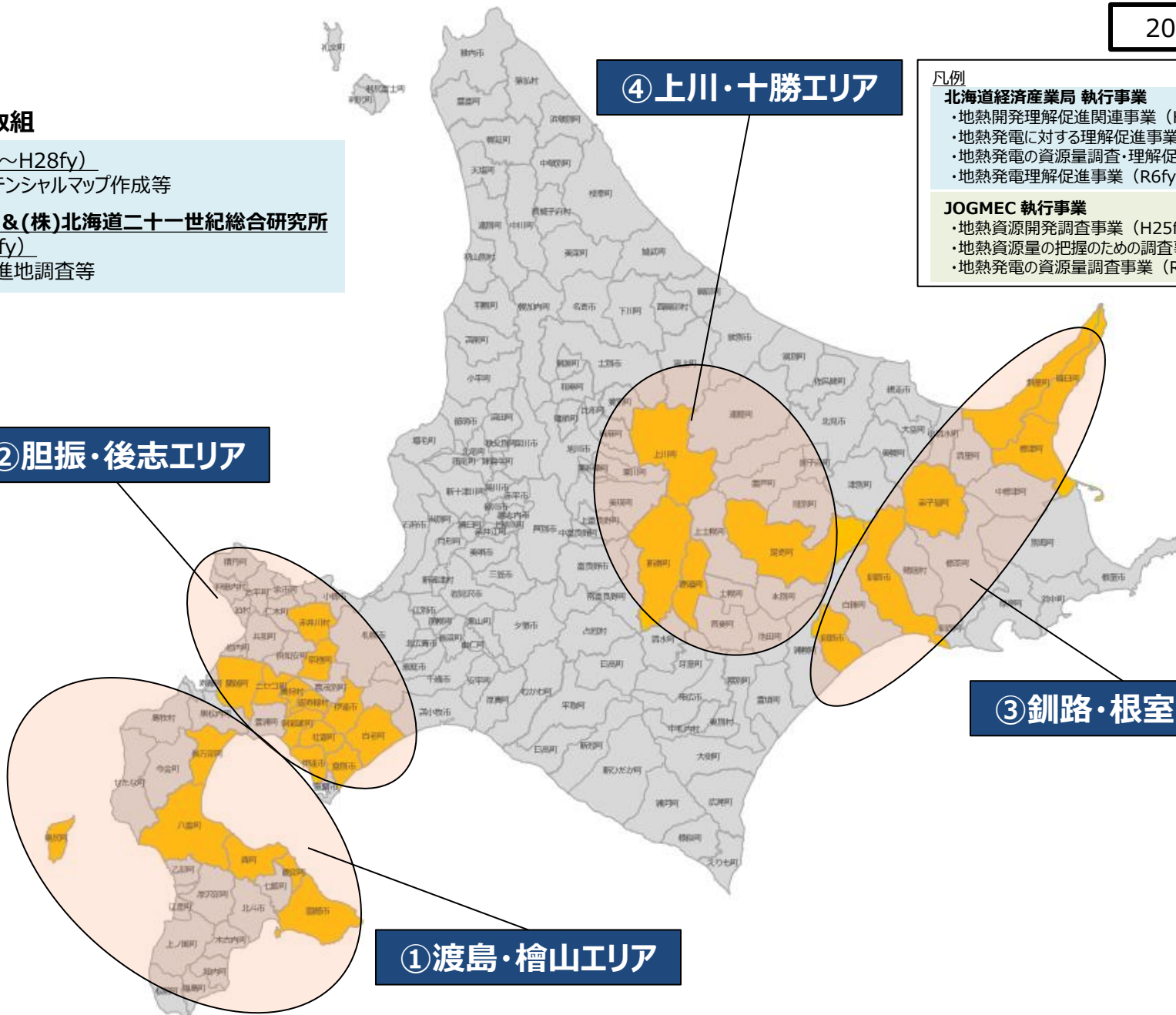
- ・地熱資源開発調査事業 (H25fy~H28fy)
- ・地熱資源量の把握のための調査事業 (H29fy~H30fy)
- ・地熱発電の資源量調査事業 (R1fy~)

②胆振・後志エリア

④上川・十勝エリア

③釧路・根室エリア

①渡島・檜山エリア



2026年5月時点

阿女鱒岳地域

赤井川村 (H27fy~H28fy)
住民向け普及啓発、先進地視察等

出光興産(株)、国際石油開発帝石(株)、三井石油開発(株)※ (H24fy~H30fy) ※はH25fy~H29fy参画
坑井掘削、仮噴気試験等

大湯沼周辺

蘭越町 (R7fy)
熱水利用方法の検討、地質概要調査等

ニセコ地域

日本重化学工業(株) (H28fy)
勉強会、先進地視察等

ニセコ町、蘭越町、北電総合設計(株) (H29fy、R1fy~R4fy)
住民説明会、協議会、先進地視察、シンポジウム等

日本重化学工業(株)、三井石油開発(株) (H28fy~H29fy)
文献調査、地質調査等

日本重化学工業(株)、三井石油開発(株) (R1fy~R5fy) ※R3fy~三井石油開発(株)単独事業
坑井掘削、温泉モニタリング等

真狩地域

真狩村 (H26fy)
勉強会、先進地視察等

洞爺湖温泉地域

洞爺湖温泉利用(協組) (H25fy~H26fy)
熱水利用設備整備等

洞爺湖温泉利用(協組) (H25fy)
坑井掘削調査等

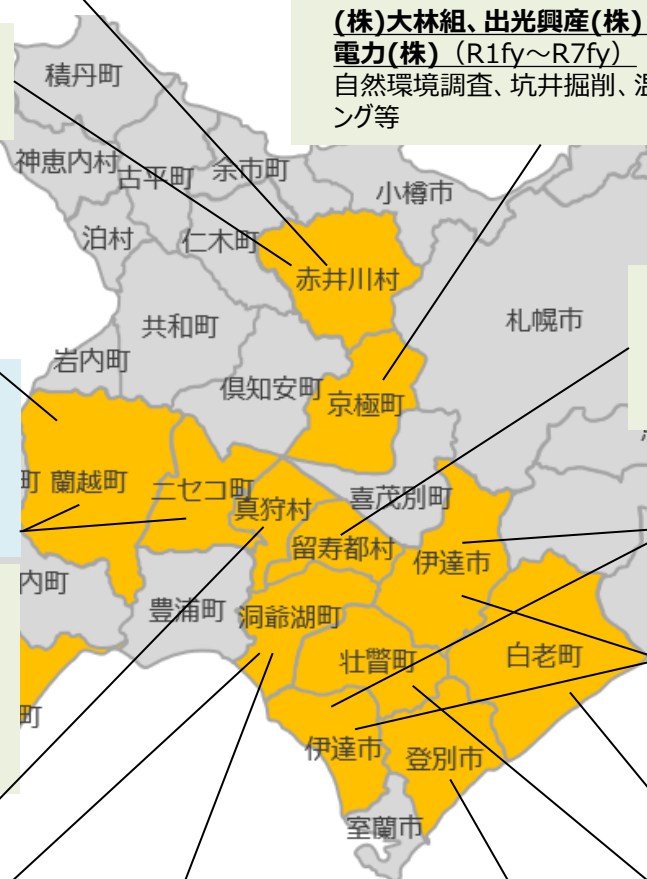
余市岳北西部

住友林業(株) (R1fy)
地表調査、電磁探査

京極北部

(株)大林組 (H29fy)
地表調査、電磁探査等

(株)大林組、出光興産(株)、北海道電力(株) (R1fy~R7fy)
自然環境調査、坑井掘削、温泉モニタリング等



凡例

- 北海道経済産業局 執行事業**
- ・地熱開発理解促進関連事業 (H25fy~H28fy)
 - ・地熱発電に対する理解促進事業 (H29fy~H30fy)
 - ・地熱発電の資源量調査・理解促進事業 (R1fy~R5fy)
 - ・地熱発電理解促進事業 (R6fy~)

- JOGMEC 執行事業**
- ・地熱資源開発調査事業 (H25fy~H28fy)
 - ・地熱資源量の把握のための調査事業 (H29fy~H30fy)
 - ・地熱発電の資源量調査事業 (R1fy~)

ルスツ地域

(株)大林組 (H29fy~H30fy)
地質調査、重力探査、反射法弾性波探査等

(株)大林組、北海道電力(株) (R1fy~R2fy、R6fy~R7fy)
坑井掘削、温泉モニタリング等

有珠山南部地域

西松建設(株) (R5fy)
地質調査、電磁探査等

大滝区

伊達市、北電総合設計(株) (H27fy~H28fy)
勉強会、先進地視察等

白老・カルルス温泉地域

白老町、(株)道銀地域総合研究所 (R2fy~R4fy)
検討委員会、勉強会、源泉調査、先進地視察等

蟠溪地区

壮瞥町、北電総合設計(株) (H27fy~H28fy)
勉強会、先進地視察等

西山地域

洞爺湖町、北電総合設計(株) (H28fy)
協議会設置、先進地視察等

登別温泉・カルルス温泉地域

登別市、(株)道銀地域総合研究所 (H27fy~H28fy)
勉強会、先進地視察等

2026年5月時点

川湯温泉地域

(医)共生会 (H27fy~H28fy)
熱水利用設備整備等

ウトロ温泉地域

ウトロ温泉事業(協組)、(株)地熱開発 (H28fy)
勉強会、先進地視察等

凡例

北海道経済産業局 執行事業

- ・地熱開発理解促進関連事業 (H25fy~H28fy)
- ・地熱発電に対する理解促進事業 (H29fy~H30fy)
- ・地熱発電の資源量調査・理解促進事業 (R1fy~R5fy)
- ・地熱発電理解促進事業 (R6fy~)

JOGMEC 執行事業

- ・地熱資源開発調査事業 (H25fy~H28fy)
- ・地熱資源量の把握のための調査事業 (H29fy~H30fy)
- ・地熱発電の資源量調査事業 (R1fy~)

羅臼地域

羅臼町、オリックス(株) (H27fy)
勉強会、先進地視察、熱水利活用検討

羅臼町、(株)北海道二十一世紀総合研究所 (H28fy)
勉強会、先進地視察、熱水利活用検討

羅臼町、北電総合設計(株) (R6fy)
勉強会、先進地視察、熱水利活用検討

羅臼町、基礎地盤コンサルタンツ(株) (R7fy~R8fy)
協議会、熱水利活用検討

オリックス(株) (H28fy~H29fy)
環境事前調査、坑井掘削調査、埋坑工事

武佐岳地域

標津町 (H25fy~H27fy)
検討会、先進地視察、住民周知等

尖峰周辺

(株)INPEX (R6fy~R8fy)
地表地質調査、附帯工事、希少動植物・水質調査

阿寒湖温泉地域

(特非)阿寒観光協会まちづくり推進機構、(一財)前田一步園財団、釧路市、北電総合設計(株) (H28fy~H29fy)
勉強会、先進地視察等

(特非)阿寒観光協会まちづくり推進機構、阿寒湖温泉旅館組合、釧路市、北電総合設計(株) (R6fy~R7fy)
勉強会、先進地視察等

湯沼・アトサヌプリ地域

弟子屈町 (H27fy~H30fy)
勉強会、協議会

弟子屈町 (R1fy)
勉強会、協議会、可能性調査

(同)弟子屈地熱推進公社 (R6fy)
協議会等

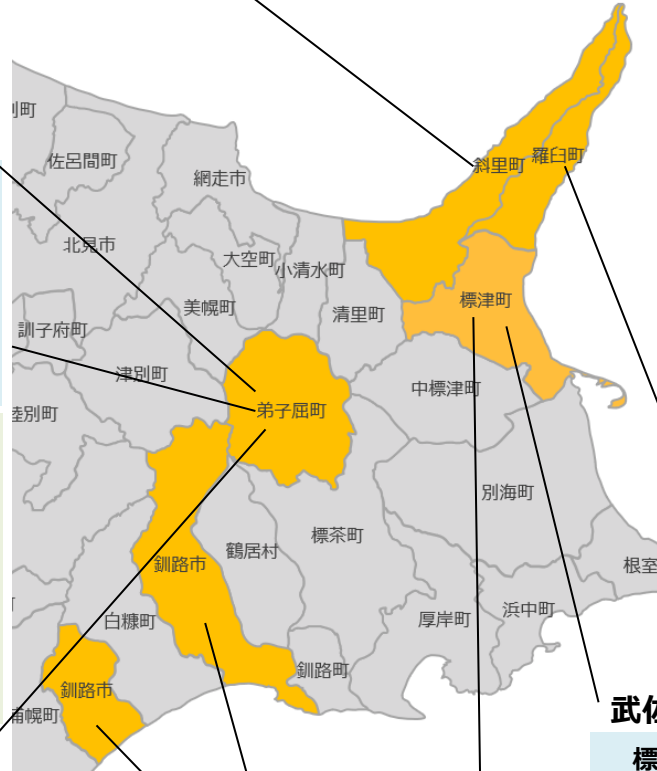
弟子屈町、(同)弟子屈地熱推進公社 (H28fy~H30fy)
地質調査、掘削調査

弟子屈町、(同)弟子屈地熱推進公社 (R2fy~R4fy、R6fy~R7fy)
坑井掘削、温泉・環境モニタリング等

石油資源開発(株) (R5fy~R6fy)
電磁探査、環境影響調査、統合解析等

弟子屈原野

石油資源開発(株) (R5fy~R6fy)
電磁探査、環境影響調査、統合解析等



【参考】地熱開発プロセスと経済産業省・JOGMECによる支援措置の全体像

新規有望地点の開拓

<国主体（JOGMEC自身が実施）>

個別地点での調査・探査・開発

<開発事業者主体（JOGMECが支援）>



【参考】地熱発電所

■ 南茅部地熱発電所 ※2024.5運転開始



所在地	函館市臼尻町722番他
事業者	ORジオ南茅部株式会社 (オリックス100%孫会社)
設備容量	6,500kW (6.5MW)
年間発電量	最大約56,640,000kWh
施工会社	日鉄エンジニアリング株式会社、株式会社きんでん
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・バイナリー方式で国内最大規模。 ・「ラインシャフト式ダウンホールポンプ」を国内の地熱発電所で初導入。 ・長時間稼働できる耐久性の高い地熱向けポンプを利用し、低温度の熱水から十分な熱量を得ることが可能。 ・設計面では、井戸の本数と開発面積を削減。 ・媒体の冷却には、従来使用されていた水の代わりに空冷凝縮器を採用し、樹木が枯れる原因となる樹氷の発生を防止。

■ 森バイナリー発電所 ※2023.11運転開始



所在地	茅部郡森町濁川
事業者	森バイナリーパワー合同会社 (北海道電力60% J F Eエンジニアリング30% 東京センチュリー10%)
設備容量	2,000kW (2MW)
年間発電量	約10,000,000kWh
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道電力が保有する森発電所（定格出力：2.5万kW、地熱）の還元熱水を利用。 ・未利用熱エネルギーを、バイナリー方式として有効活用し発電。

■ 森発電所 ※1982.11運転開始



所在地	茅部郡森町濁川
事業者	北海道電力
設備容量	25,000kW (25MW)
方式	ダブルフラッシュ方式 ※気水分離器で蒸気を取り出した後の熱水を、減圧し再度蒸気を発生させ、タービンを回す方式。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・全国8番目（道内初）の地熱発電所として、昭和57年に営業運転開始。当初の認可出力は5万kW。現在は、2万5千kWに変更。 ・地下に熱水を戻す前に、河川水等を温め、これをビニールハウスに送り、キュウリやトマトなどを栽培。

【参考】JOGMECによる広報（地熱開発のモデル地区）

- 地熱開発のモデル地区として、北海道森町、岩手県八幡平市、秋田県湯沢市の3市町村を認定。
- この制度は、①地熱資源を活用した産業等の振興に取り組み、②地域協議会等の設置を通じて地熱発電事業者と地元の対話の場を設定する等、他の地域への模範となる自治体を「地熱開発のモデル地区」として認定し、これら取組を全国に発信することで、地熱開発の理解を促進するもの。
- JOGMECが「モデル地区専用ウェブサイト」を開設し、PRを実施中。

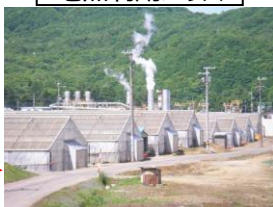
北海道森町

- 森地熱発電所の還元熱水の一部を熱交換し、トマト・キュウリ等を栽培する温室ハウスで活用。
- 温室で生産されたトマト等を使用した、ご当地グルメ「森らいす」を開発。
- 情報交換会の定期開催や新エネビジョンの作成、学生を対象とした新エネ見学会を実施。

森地熱発電所



地熱利用ハウス



還元熱水利用

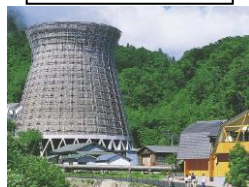
森らいす



岩手県八幡平市

- 松川地熱発電所の蒸気を地熱染めに活用、発電後の熱水を八幡平温泉郷等へ提供。
- 地熱開発の検討委員会、理解促進に係る有識者会議の設置や「八幡平市地熱を活かしたまちづくりビジョン」を策定し、市民や事業者の関与を高め、地熱エネルギーの活用策を展開。

松川地熱発電所



熱水利用



八幡平温泉郷

地熱染め



蒸気利用

「沸騰地熱塾」

地熱を活用したまちづくりを市民・事業者・行政の協働で進める。

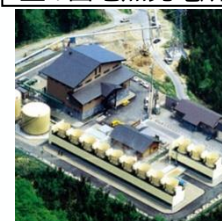
「地熱シンポジウムin八幡平」

市民の地熱活用の意識を高め、「地熱発電のふるさと八幡平市」をPR。

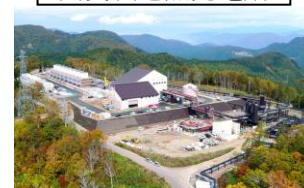
秋田県湯沢市

- 23年ぶりの大型の地熱発電所である、山葵沢（わさびざわ）地熱発電所が運転開始。
- 市有泉からの熱水をミツバ等のハウス栽培に活用。また、高校生ならではの視点でドライフルーツ「ミツチェリー」を商品化。
- 協議会や各種理解促進活動を展開。

上の岱地熱発電所



山葵沢地熱発電所



ミツチェリー



「湯沢市地熱見学会」

市内の運転中、建設中の地熱発電所や地熱に関する施設、スポットを見学し、地熱の有効利用について理解を醸成。

「地熱開発アドバイザーの設置」

地熱の事情に詳しく、専門知識を有する者をアドバイザーに委嘱し、事業者や市民からの問い合わせなど各事案に助言。